

現状

65歳以上高齢者の急激な増加とともに単身・高齢者のみ世帯の増加
医療的ニーズの高い重介護高齢者・認知症高齢者の増加

ニーズ

高齢で医療・介護が必要になった場合も“生活の質(QOL)”の確保が求められる
施設的環境よりも住み慣れた地域的環境の方が生活環境として望ましい

課題

地域に医療・介護・福祉を担う資源は存在しても有機的に機能していない
自宅生活困難・家族の介護負担増大などの介護リスクを地域で支えきれない

“地域包括ケアシステム”の構築による地域で高齢者を支える体制づくりが必要

現在の
“地域”における
各種“ケア”
(行政サービス
・社会的資源)

自助・互助・共助・公助の役割明確化

不十分な連携の強化・機能の実効化

支援方策の重点化・拡充

“地域”で
“包括”的に
“ケア”可能な
“システム”に
再編強化